

平成 29 年度 福島県立医科大学附属病院耳鼻咽喉科専門研修プログラム

【プログラムの名称】

福島県立医科大学附属病院耳鼻咽喉科専門研修プログラム

【プログラムの目的】

耳鼻咽喉科医師としての人格の涵養に努め、耳、鼻・副鼻腔、口腔咽喉頭、頭頸部の全ての診療分野において幅広い知識と臨床能力を習得し、「国民に良質で安心な標準的医療を提供できる」耳鼻咽喉科専門医を育成することを目的とする。

【プログラム指導医と専門領域】

基幹研修施設

プログラム責任者：	室野 重之（教授、部長）	（頭頸部、咽喉頭）
指導管理責任者：	室野 重之（教授、部長）	（頭頸部、咽喉頭）
指導医：	松塚 崇（准教授、副部長）	（頭頸部）
	多田 靖宏（准教授、病棟医）	（喉頭、音声、鼻・副鼻腔）
	松井 隆道（講師、医局長）	（耳）
	鈴木 政博（講師、病棟医長）	（頭頸部）
	野本 美香（助教、病棟医）	（鼻・副鼻腔）
	黒田 令子（助教、外来医）	（耳）
	今泉 光雅（助教、病棟医）	（嚥下）
	谷 亜希子（助手、外来医）	（鼻・副鼻腔）
専門医：	小野 美穂（助手、外来医）	
	大槻 好史（助教、病棟医）	
	池田 雅一（助手、病棟医）	
	鈴木 亮（助教、病棟医）	
	仲江川雄太（医員、外来医）	
	小林 徹郎（医員、病棟医）	
	柳川 明弘（医員、外来医）	
	川瀬 友貴（医員、病棟医）	

【関連研修施設】

福島県立医科大学会津医療センター附属病院	福島赤十字病院
指導管理責任者：小川 洋	指導管理責任者：大河内 幸男
指導医：小川 洋、横山 秀二、山内 智彦	指導医：大河内 幸男
太田西ノ内病院	済生会福島総合病院
指導管理責任者：佐藤 和則	指導管理責任者：鈴木 知子
指導医：佐藤 和則、三浦 智広、佐藤 聡	指導医：鈴木 知子
大原総合病院	白河厚生総合病院
指導管理責任者：鹿野 真人	指導管理責任者：石川 浩男
指導医：鹿野 真人、野本 幸男	指導医：石川 浩男、國井 美羽
寿泉堂総合病院	福島労災病院
指導管理責任者：山辺 習	指導管理責任者：鈴木 康士
指導医：山辺 習	指導医：鈴木 康士

【募集定員】：4名

【研修開始時期と期間】

平成 29 年 4 月 1 日～平成 33 年 3 月 31 日

研修を行う関連研修施設および研修時期・期間は、専攻医ごとに適宜変更がある。

【処遇（基幹研修施設）】

給与 基本給：日給 15,400 円×勤務日数（月 17 日以内）

身分：専攻医（非常勤職員）

勤務時間：8:30～17:15

社会保険：健康保険、厚生年金保険、雇用保険、労働者災害補償保険を適用

有給休暇：（労働契約期間が1年の場合）採用時から5日を付与し、残りの5日については6か月

以上の継続勤務の後に付与。

職務：病院における診療業務の他に、臨床研修医の指導補助

医療支援：勤務日以外は医療支援（アルバイト）が可能です。

託児所：（24 時間保育可）完備、病児病後児保育所や育児サポート（ベビーシッター）助成あり。

専攻医室：他の教職員と同じ研究室を提供

健康管理：定期健康診断 年 2 回

その他 各種予防接種

医師賠償責任保険：個人での加入要

外部の研修活動：学会、研修会等への参加 可

参加費用支給の有無 全額支給（要相談）

論文投稿費用支給の有無 一定額まで支給

【応募方法】

応募資格：

日本国の医師免許証を有すること

臨床研修修了登録証を有すること（第 98 回以降の医師国家試験合格者のみ必要。平成 29 年 3 月 31 日までに臨床研修を修了する見込みの者を含む。）

一般社団法人日本耳鼻咽喉科学会（以下「日耳鼻」という。）の正会員であること（平成 29 年 4 月 1 日付で入会予定の者を含む。）

応募期間：平成 28 年 9 月 1 日（木）～平成 28 年 12 月 16 日（金）【必着】

選考方法：書類審査および面接により選考する。面接の日時・場所は別途通知する。

応募書類：次の書類を、郵送（書留郵便）、又は御持参ください。

平成 27 年度福島県立医科大学附属病院後期研修（専門医養成コース）願書（様式 1）

履歴書（様式第 3 号）（写真 3×4cm、上半身、無帽、正面向きとし、3 か月以内に撮影したものを貼付）

医師免許証又は歯科医師免許証の写し

※当院で卒後臨床研修を行っている方は、提出不要。

問い合わせ先および提出先：

〒960-1295 福島県福島市光が丘 1

福島県立医科大学医療人育成・支援センター

TEL 024-547-1047（直通） FAX 024-547-1715

E-mail: cmecd@fmu.ac.jp

<http://www.fmu.ac.jp/home/anzen/kouki/04bosyu/index.html>

【プログラムの概要】

基幹研修施設である福島県立医科大学医学部附属病院と同会津医療センター、太田西ノ内病院、大原総合病院、寿泉堂総合病院、福島赤十字病院、済生会福島総合病院、白河厚生総合病院、福島労災病院の 8 関連研修施設において、それぞれの特徴を生かした耳鼻咽喉科専門研修を行い、日耳鼻研修到達目標や症例経験基準に掲げられた疾患や手術を経験する。プログラムに定められた研修の評価は施設ごとに指導管理責任者（関連研修施設）、指導医、および専攻医が行い、プログラム責任者が最終評価を行う。4 年間の研修修了時にはすべての領域の研修到達目標を達成する。さらに、4 年間の研修中、認定されている学会において学会発表を少なくとも 3 回以上行う。また、筆頭著者として学術雑誌に 1 編以上の論文執筆・公表を行う。研修の評価や経験症例は日耳鼻が定めた方法でオンライン登録する。

なお、次期の応募準備時期に合わせて匿名などの専攻医に不利益を生じない方法を用いて専攻医による指導医および本専門研修プログラムに対する評価を行い、指導体制が十分でない場合の指導の質保証の対策と次期研修プログラムの改善を図る。

【基本的研修プラン】

- 1 年目（平成 29 年度）：原則として福島県立医科大学医学部附属病院において研修
2～4 年目（平成 30～33 年度）：福島県立医科大学医学部附属病院、会津医療センター、太田西ノ内病院、大原総合病院、寿泉堂総合病院または福島県立医科大学医学部附属病院のいずれかにおいて 6 カ月～12 ヶ月間の研修
2 年目と 3 年目の末に基幹研修施設にて知識、技能、態度に関わる評価を個別に実施する。
なお、原則として 4 年間の研修期間中に少なくとも 1 施設以上の関連研修施設で研修を行うこととする。

【研修カリキュラム】

【1～4 年目】

研修施設：福島県立医科大学医学部附属病院

期間：平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日

GI0（一般目標）：耳鼻咽喉科医としての基本的臨床能力および医療人としての基本的姿勢を身につける。

このために、代表的な疾患や主要症候に適切に対処できる知識、技能、診療態度および臨床問題解決能力の習得と人間性の向上に努める。

SB0s（行動目標）

基本姿勢・態度

研修到達目標（基本姿勢・態度）：#1-18

基本的知識

研修到達目標（耳）：#19-25 研修到達目標（鼻・副鼻腔）：#41-46

研修到達目標（口腔咽喉頭）：#62-72

研修到達目標（頭頸部腫瘍）：#86-91

基本的診断・治療

研修到達目標（耳）：#26-30 研修到達目標（鼻・副鼻腔）：#47-55

研修到達目標（口腔咽喉頭）：#73-77

研修到達目標（頭頸部）：#92-97

経験すべき治療など 術者あるいは助手を務めることができる

耳科手術（鼓膜切開術、鼓膜チューブ挿入術、鼓室形成術など）

鼻科手術（鼻中隔矯正術、下鼻甲介切除術、内視鏡下鼻副鼻腔手術など）

口腔咽喉頭手術（口蓋扁桃摘出術、アデノイド切除術、舌・口腔・咽頭腫瘍摘出術、喉頭微細手術など）

頭頸部腫瘍手術（頸部リンパ節生検、頸部郭清術、頭頸部腫瘍摘出術など）

経験すべき検査 下記の検査を自ら実施し、その結果を解釈できる。

聴覚検査：純音聴力検査、語音聴力検査、ティンパノメトリー、自記オージオメトリー検査、耳音響放射検査、
幼児聴力検査、平衡機能検査：起立検査、頭位および頭位変換眼振検査、温度眼振検査、視運動性眼振検査、視
標追跡検査、重心動揺検査

耳管機能検査、鼻アレルギー検査（鼻汁好酸球検査、皮膚テストまたは誘発テスト）

嗅覚検査（静脈性嗅覚検査、基準嗅覚検査）

鼻腔通気度検査

中耳・鼻咽腔・喉頭内視鏡検査

味覚検査（電気味覚検査またはろ紙ディスク法）

喉頭ストロボスコープ検査、音声機能検査、音響分析検査

超音波（エコー）検査（頸部、唾液腺、甲状腺）、穿刺吸引細胞診（頸部、唾液腺、甲状腺）

嚥下内視鏡検査、嚥下造影検査

研修内容

専攻医は外来患者の診療および入院患者の管理を行う。

モーニングカンファレンス（平日 8:20-9:00）

入院患者・入院予定患者のカンファレンス（月曜日 18:00-19:00）

放射線治療患者のカンファレンス（毎月第1月曜日 17:00-18:00）

総回診（木曜日 14:00-15:30）

医局会・抄読会（火曜日 18:00-19:00）

耳鼻咽喉科・頭頸部外科領域の解剖や生理に関する医局勉強会（不定期）

嚥下・音声・言語に関する医局勉強会（隔週火曜日 19:30-20:30）

他科と共同治療を行う患者のカンファレンス（不定期）

専門外来については難聴、中耳炎、鼻副鼻腔、嗅覚、音声、嚥下、頭頸部腫瘍、無呼吸の各分野をローテートする。

医療倫理、医療安全、感染対策に関する講習会にそれぞれ 2 回以上出席する。

学会または研修会に参加し、日耳鼻が定めた学会において年 1 回以上発表を行う。

【2～4年目】

研修施設：福島県立医科大学会津医療センター

期間：平成 30 年 4 月 1 日～平成 33 年 3 月 31 日（左記期間中の 6 カ月～18 カ月）

GIO（一般目標）：地域の中核病院において、耳鼻咽喉科領域のプライマリ疾患に対する診断および治療の実地経験を積む。また、地域医療の現場を体験することで日耳鼻福島県地方部会会津地区における耳鼻咽喉科医療のニーズと役割を理解する。

SB0s（行動目標）

基本姿勢・態度

研修到達目標（基本姿勢・態度）：#1-18

基本的知識

研修到達目標（耳）：#19-40

研修到達目標（鼻・副鼻腔）#41-46

研修到達目標（口腔咽喉頭）：#62-72

研修到達（頭頸部）#86-91

基本的診断・治療

研修到達目標（耳）：#26-28, 30-40

研修到達目標（鼻・副鼻腔）：#47-48, 51-61

研修到達目標（口腔咽喉頭）：#74-81, 83-85

研修到達目標（頭頸部）：#92-97, 99-100, 103-104

経験すべき治療など 術者あるいは助手を務めることができる

耳科手術（鼓膜切開術、鼓膜チューブ挿入術、鼓室形成術、アブミ骨手術、Baha、人工内耳手術など）※人工内耳手術後の聴覚訓練は福島県総合療育センターにおいて研修する。

鼻科手術（鼻中隔矯正術、下鼻甲介切除術、内視鏡下鼻副鼻腔手術、後鼻神経切断術など）

口腔咽喉頭手術（口蓋扁桃摘出術、アデノイド切除術、舌・口腔・咽頭腫瘍摘出術、顎下腺腫瘍摘出術、耳下腺腫瘍摘出術、喉頭微細手術、嚥下機能改善手術、誤嚥防止手術など）

頭頸部腫瘍手術（頸部リンパ節生検、頭頸部腫瘍摘出術、甲状腺良性腫瘍摘出術など）

緩和医療

経験すべき検査

聴覚検査、平衡機能検査（起立検査、頭位および頭位変換眼振検査、温度眼振検査、視運動性眼振検査、視標追跡検査、重心動揺検査）、鼻アレルギー検査、中耳・鼻咽腔・喉頭内視鏡検査、嗅覚検査（静脈性嗅覚検査）、喉頭ストロボスコープ検査、超音波（エコー）検査（頸部、唾液腺、甲状腺）、穿刺吸引細胞診（頸部、唾液腺、甲状腺）、嚥下内視鏡検査、嚥下造影検査、聴性脳幹反応検査、顔面神経予後判定（ENoG）など

研修内容

研修内容は耳鼻咽喉科のプライマリー疾患の診断とその対応に重点を置く。

専攻医は指導医とともに、外来診療と病棟診療を行う。

夜間や休日の当直を行い、各種の救急疾患に対応する。

院内症例カンファレンス（随時）

術前・術後カンファレンス（週 1 回）

医療倫理、医療安全、感染対策に関する講習会にそれぞれ年 1 回以上出席する。

学会または研修会に参加し、日耳鼻が定めた学会において年 1 回以上発表を行う。

研修施設：大原総合病院

期間：平成 30 年 4 月 1 日～平成 33 年 3 月 31 日（左記期間中の 6 カ月～18 カ月）

GIO（一般目標）：地域の中核病院において、耳鼻咽喉科領域のプライマリー疾患に対する診断および治療の実地経験を積む。また、地域医療の現場を体験することで県北地域における耳鼻咽喉科医療のニーズと役割を理解する。

SB0s（行動目標）

基本姿勢・態度

研修到達目標（基本姿勢・態度）：#1-18

基本的知識

研修到達目標（耳）：#31

研修到達目標（口腔咽喉頭）：#69-72

基本的診断・治療

研修到達目標（耳）：#26-30 研修到達目標（鼻・副鼻腔）：#49-61

研修到達目標（口腔咽喉頭）：#73-80, 83-85 研修到達目標（頭頸部）：#92-97, 100, 102-103

経験すべき治療など 術者あるいは助手を務めることができる

耳科手術（鼓膜切開術、鼓膜チューブ挿入術、鼓室形成術など）

鼻科手術（鼻中隔矯正術、下鼻甲介切除術、内視鏡下鼻副鼻腔手術など）

口腔咽喉頭手術（口蓋扁桃摘出術、アデノイド切除術、舌・口腔・咽頭腫瘍摘出術、喉頭微細手術など）

頭頸部腫瘍手術（頸部リンパ節生検、頭頸部腫瘍摘出術など）

緩和医療

経験すべき検査

聴覚検査、平衡機能検査、鼻アレルギー検査、鼻咽腔・喉頭内視鏡検査、嗅覚検査、味覚検査、超音波（エコー）検査

査（頸部、唾液腺、甲状腺）、穿刺吸引細胞診（頸部、唾液腺、甲状腺）、嚥下内視鏡検査、嚥下造影検査など

研修内容

研修内容は耳鼻咽喉科のプライマリー疾患の診断とその対応に重点を置く。

専攻医は指導医とともに、外来診療と病棟診療を行う。

夜間や休日の当直を行い、各種の救急疾患に対応する。

院内症例カンファレンス（随時）

術前・術後カンファレンス（週 1 回）

医療倫理、医療安全、感染対策に関する講習会にそれぞれ年 1 回以上出席する。

学会または研修会に参加し、日耳鼻が定めた学会において年 1 回以上発表を行う。

研修施設：太田西ノ内病院

期間：平成 30 年 4 月 1 日～平成 33 年 3 月 31 日（左記期間中の 6 カ月～18 カ月）

GIO（一般目標）：地域の中核病院において、耳鼻咽喉科領域のプライマリー疾患に対する診断および治療の実地経験を積む。また、地域医療の現場を体験することで福島県中地域における耳鼻咽喉科医療のニーズと役割を理解する。

SBOs（行動目標）

基本姿勢・態度

研修到達度目標（基本姿勢・態度）：#1-18

基本的知識

研修到達目標（耳）：#31

研修到達目標（口腔咽喉頭）：#69-72

基本的診断・治療

研修到達目標（耳）：#26-30

研修到達目標（鼻・副鼻腔）：#49-61

研修到達目標（口腔咽喉頭）：#73-80, 83-85

研修到達目標（頭頸部）：#92-97, 100, 102-103

経験すべき治療など 術者あるいは助手を務めることができる

耳科手術（鼓膜切開術、鼓膜チューブ挿入術、個室形成術、人工内耳手術など）

※人工内耳手術および術後の聴覚訓練は福島県立医科大学医学部附属病院において研修する。

鼻科手術（鼻中隔矯正術、下鼻甲介切除術、内視鏡下鼻副鼻腔手術など）

口腔咽喉頭手術（口蓋扁桃摘出術、アデノイド切除術、舌・口腔・咽頭腫瘍摘出術、咽頭微細手術など）

頭頸部腫瘍手術（頸部リンパ節生検、頭頸部腫瘍摘出術など）

緩和医療

経験すべき検査

聴覚検査、平衡機能検査、鼻アレルギー検査、鼻咽腔・喉頭内視検査、嗅覚検査、味覚検査、超音波（エコー）検査、（頸部、唾液腺、甲状腺）、穿刺吸引細胞診（頸部、唾液腺、甲状腺）、嚥下内視鏡検査、嚥下造影検査など

研修内容

研修内容は耳鼻咽喉科のプライマリー疾患の診断とその対応に重点を置く。

専攻医は指導医とともに、外来診療と病棟診療を行う。

夜間や休日の当直を行い、各種の救急疾患に対応する。

院内症例カンファレンス（随時）

術前・術後カンファレンス（週 1 回）

医療倫理、医療安全、感染対策に関する講習会にそれぞれ年 1 回以上出席する。

学会または研修会に参加し、日耳鼻が定めた学会において年 1 回以上発表を行う。

研修施設：寿泉堂総合病院

期間：平成 30 年 4 月 1 日～平成 33 年 3 月 31 日（左記期間中の 6 カ月～18 カ月）

GI0（一般目標）：地域の中核病院において、耳鼻咽喉科領域のプライマリ疾患に対する診断および治療の实地経験を積む。また、地域医療の現場を体験することで福島県中通り県中地域における耳鼻咽喉科医療のニーズと役割を理解する。

SBOs（行動目標）

基本姿勢・態度

研修到達目標（基本姿勢・態度）：#1-18

基本的知識

研修到達目標（耳）：#19-25

研修到達目標（鼻・副鼻腔）：#41-46

研修到達目標（口腔咽喉頭）：#62-72

研修到達目標（頭頸部）：#86-91

基本的診断・治療

研修到達目標（耳）：#26-30, 33-37, 40

研修到達目標（鼻・副鼻腔）：#47-49, 51-61

研修到達目標（口腔咽喉頭）：#74-76, 78-81, 83-85

研修到達目標（頭頸部）：#92-97, 100, 104, 107

経験すべき治療など 術者あるいは助手を務めることができる

耳科手術（鼓膜切開術、鼓膜チューブ挿入術、鼓室形成術など）

鼻科手術（鼻中隔矯正術、下鼻甲介切除術、内視鏡下鼻副鼻腔手術など）

口腔咽喉頭手術（口蓋扁桃摘出術、アデノイド切除術、舌・口腔・咽頭腫瘍摘出術、喉頭微細手術など）

頭頸部腫瘍手術（頸部リンパ節生検、頭頸部腫瘍摘出術など）

経験すべき検査

聴覚検査、平衡機能検査、鼻アレルギー検査、鼻咽腔・喉頭内視鏡検査、嗅覚検査、味覚検査、超音波（エコー）検査（頸部、唾液腺、甲状腺）、穿刺吸引細胞診（頸部、唾液腺、甲状腺）、嚥下内視鏡検査、嚥下造影検査、中耳機能検査（鼓膜穿孔閉鎖検査）、聴性脳幹反応検査、新生児聴覚スクリーニング検査など

研修内容

研修内容は耳鼻咽喉科のプライマリ疾患の診断とその対応に重点を置く。

専攻医は指導医とともに、外来診療と病棟診療を行う。

夜間や休日の当直を行い、各種の救急疾患に対応する。

院内症例カンファレンス（随時）

術前・術後カンファレンス（週 1 回）

医療倫理、医療安全、感染対策に関する講習会にそれぞれ年 1 回以上出席する。

学会または研修会に参加し、日耳鼻が定めた学会において年 1 回以上発表を行う。

研修施設：福島赤十字病院

期間：平成 30 年 4 月 1 日～平成 33 年 3 月 31 日（左記期間中の 6 カ月～18 カ月）

GI0（一般目標）：地域の中核病院において、耳鼻咽喉科のプライマリ疾患に対する診断および治療の实地経験を積む。また、地域医療の現場を体験することで福島県北地域における耳鼻咽喉科医療のニーズと役割を理解する。

SBOs（行動目標）

基本姿勢・態度

研修到達目標（基本姿勢・態度）：#1-#18

基本的知識

研修到達目標（耳）#19-#25

研修到達目標（鼻・副鼻腔）#41-#46

研修到達目標（口腔咽喉頭）#62-#72

研修到達目標（頭頸部）#86-#91

基本的診断・治療

研修到達目標（耳）#26-#30、#32-#37、#40

研修到達目標（鼻・副鼻腔）#47-#61

研修到達目標（口腔咽喉頭）#73-#76、#78-#85

研修到達目標（頭頸部）#92-#97、#99-#100

経験すべき治療など 術者あるいは助手を務めることができる

耳科手術（鼓膜切開術、鼓膜チューブ挿入術、鼓膜形成術、鼓室形成術など）

鼻科手術（鼻中隔矯正術、下鼻甲介切除術、内視鏡下副鼻腔手術など）

口腔咽喉頭手術（口蓋扁桃摘出術、アデノイド切除術、舌・口腔・咽頭良性腫瘍摘出術、喉頭微細手術など）

頭頸部腫瘍手術（頸部リンパ節生検、頭頸部良性腫瘍摘出術など）

経験すべき検査 下記の検査を自ら実施し、その結果を解釈できる

聴覚検査：純音聴力検査、語音聴力検査、チンパノメトリー、自記オージオメトリー、ABR検査、平衡機能検査：

頭位および頭位変換眼振検査、温度眼振検査、視運動性眼振検査、指標追跡検査、重心動揺検査、静脈性嗅覚検査、

中耳・鼻咽腔・喉頭内視鏡検査、エコー検査、穿刺吸引細胞診、嚥下内視鏡検査、嚥下造影検査

研修内容

研修内容は耳鼻咽喉科のプライマリー疾患の診断とその対応に重点を置く。

専攻医は指導医とともに、外来診療と病棟診療を行う。

夜間や休日の当直を行い、各種の救急疾患に対応する。

院内症例カンファレンス（随時）

術前・術後カンファレンス（週1回）

医療倫理、医療安全、感染対策に関する講習会にそれぞれ年1回以上出席する。

学会または研修会に参加し、日耳鼻が定めた学会において年1回以上発表を行う。

研修施設：白河厚生総合病院

期間：平成30年4月1日～平成33年3月31日（左記期間中の6カ月～18カ月）

GIO（一般目標）：地域の中核病院において、耳鼻咽喉科領域のプライマリー疾患に対する診断および治療の実地経験を積む。また、地域医療の現場を体験することで福島県南地域における耳鼻咽喉科医療のニーズと役割を理解する。

SBOs（行動目標）

基本姿勢・態度

研修到達目標（基本姿勢・態度）：#1-18

基本的知識

研修到達目標（耳）：#31

研修到達目標（口腔咽喉頭）：#69-72

基本的診断・治療

研修到達目標（耳）：#26-30 研修到達目標（鼻・副鼻腔）：#49-61

研修到達目標（口腔咽喉頭）：#73-80、83-85 研修到達目標（頭頸部）：#92-97、100、102-103

経験すべき治療など 術者あるいは助手を務めることができる

耳科手術（鼓膜切開術、鼓膜チューブ挿入術、鼓室形成術など）

鼻科手術（下鼻甲介切除術、内視鏡下鼻副鼻腔手術など）

口腔咽喉頭手術（口蓋扁桃摘出術、アデノイド切除術、舌・口腔・咽頭腫瘍摘出術、喉頭微細手術など）

頭頸部腫瘍手術（頸部リンパ節生検、頭頸部腫瘍摘出術など）

緩和医療

経験すべき検査

聴覚検査、平衡機能検査、鼻アレルギー検査、鼻咽腔・喉頭内視鏡検査、嗅覚検査、味覚検査、超音波（エコー）検査（頸部、唾液腺、甲状腺）、穿刺吸引細胞診（頸部、唾液腺、甲状腺）、嚥下内視鏡検査、嚥下造影検査など

研修内容

研修内容は耳鼻咽喉科のプライマリー疾患の診断とその対応に重点を置く。

専攻医は指導医とともに、外来診療と病棟診療を行う。

夜間や休日の当直を行い、各種の救急疾患に対応する。

院内症例カンファレンス（随時）

術前・術後カンファレンス（週 1 回）

医療倫理、医療安全、感染対策に関する講習会にそれぞれ年 1 回以上出席する。

学会または研修会に参加し、日耳鼻が定めた学会において年 1 回以上発表を行う。

研修施設：済生会福島総合病院

期間：平成 30 年 4 月 1 日～平成 33 年 3 月 31 日（左記期間中の 6 カ月～18 カ月）

GIO（一般目標）：地域の中核病院において、耳鼻咽喉科領域のプライマリー疾患に対する診断および治療の実地経験を積む。また、地域医療の現場を体験することで福島県北地域における耳鼻咽喉科医療のニーズと役割を理解する。

SBOs（行動目標）

基本姿勢・態度

研修到達目標（基本姿勢・態度）：#1-18

基本的知識

研修到達目標（耳）：#31

研修到達目標（口腔咽喉頭）：#69-72

基本的診断・治療

研修到達目標（耳）：#26-30 研修到達目標（鼻・副鼻腔）：#49-61

研修到達目標（口腔咽喉頭）：#73-80, 83-85 研修到達目標（頭頸部）：#92-97, 100, 102-103

経験すべき治療など 術者あるいは助手を務めることができる

耳科手術（鼓膜切開術、鼓膜チューブ挿入術、鼓室形成術、人工内耳手術など）※鼓室形成術、人工内耳手術および術後の聴覚訓練は福島県立医科大学医学部附属病院において研修する。

鼻科手術（鼻中隔矯正術、下鼻甲介切除術、内視鏡下鼻副鼻腔手術など）

口腔咽喉頭手術（口蓋扁桃摘出術、アデノイド切除術、舌・口腔・咽頭腫瘍摘出術、喉頭微細手術など）

頭頸部腫瘍手術（頸部リンパ節生検、頭頸部腫瘍摘出術など）

緩和医療

リハビリテーション

経験すべき検査

聴覚検査、平衡機能検査、鼻アレルギー検査、鼻咽腔・喉頭内視鏡検査、嗅覚検査、味覚検査、超音波（エコー）検査（頸部、唾液腺、甲状腺）、穿刺吸引細胞診（頸部、唾液腺、甲状腺）、嚥下内視鏡検査、嚥下造影検査など

研修内容

研修内容は耳鼻咽喉科のプライマリー疾患の診断とその対応に重点を置く。

専攻医は指導医とともに、外来診療と病棟診療を行う。

夜間や休日の当直を行い、各種の救急疾患に対応する。

院内症例カンファレンス（随時）

術前・術後カンファレンス（週 1 回）

医療倫理、医療安全、感染対策に関する講習会にそれぞれ年 1 回以上出席する。

学会または研修会に参加し、日耳鼻が定めた学会において年 1 回以上発表を行う。

研修施設：福島労災病院

期間：平成 30 年 4 月 1 日～平成 33 年 3 月 31 日（左記期間中の 6 カ月～18 カ月）

GIO（一般目標）：いわき地域の中核病院において、耳鼻咽喉科領域のプライマリー疾患に対する診断および治療の実地経験を積む。地域医療の現場を体験することで福島県いわき地域における耳鼻咽喉科医療のニーズと役割を理解する。また、各種の耳鼻咽喉科疾患に対する実地経験を深め、自らが診断および治療方針決定を行う。

SBOs（行動目標）

基本姿勢・態度

研修到達目標（基本姿勢・態度）：#1-18

基本的診断・治療

研修到達目標（耳）：#30, #32-37

研修到達目標（鼻・副鼻腔）：#51-61

研修到達目標（口腔咽喉頭）：#69-72, 74, 76-85

研修到達目標（頭頸部）：#92-97, 100, 102-103

経験すべき治療など 術者あるいは助手を務めることができる

耳科手術（鼓膜切開術、鼓膜チューブ挿入術、鼓室形成術など）

鼻科手術（鼻中隔矯正術、下鼻甲切除術、内視鏡下鼻副鼻腔手術など）

口腔咽喉頭手術（口蓋扁桃摘出術、アデノイド切除術、舌・口腔・咽頭腫瘍摘出術、喉頭微細手術など）

頭頸部腫瘍手術（頸部リンパ節生検、頸部良性腫瘍摘出術、頭頸部腫瘍摘出術など）

緩和医療

経験すべき検査

聴覚検査、平衡機能検査、鼻アレルギー検査、鼻咽腔・喉頭内視鏡検査、嗅覚検査、味覚検査、超音波（エコー）検査（頸部、唾液腺、甲状腺）、穿刺吸引細胞診（頸部、唾液腺、甲状腺）、嚥下内視鏡検査、嚥下造影検査など

研修内容

研修内容は耳鼻咽喉科のプライマリー疾患の診断とその対応に重点を置く。

専攻医は指導医とともに、外来診療と病棟診療を行う。

夜間や休日の当直を行い、各種の救急疾患に対応する。

院内症例カンファレンス（随時）

術前・術後カンファレンス（週 1 回）

医療倫理、医療安全、感染対策に関する講習会にそれぞれ年 1 回以上出席する。

学会または研修会に参加し、日耳鼻が定めた学会において年 1 回以上発表を行う。